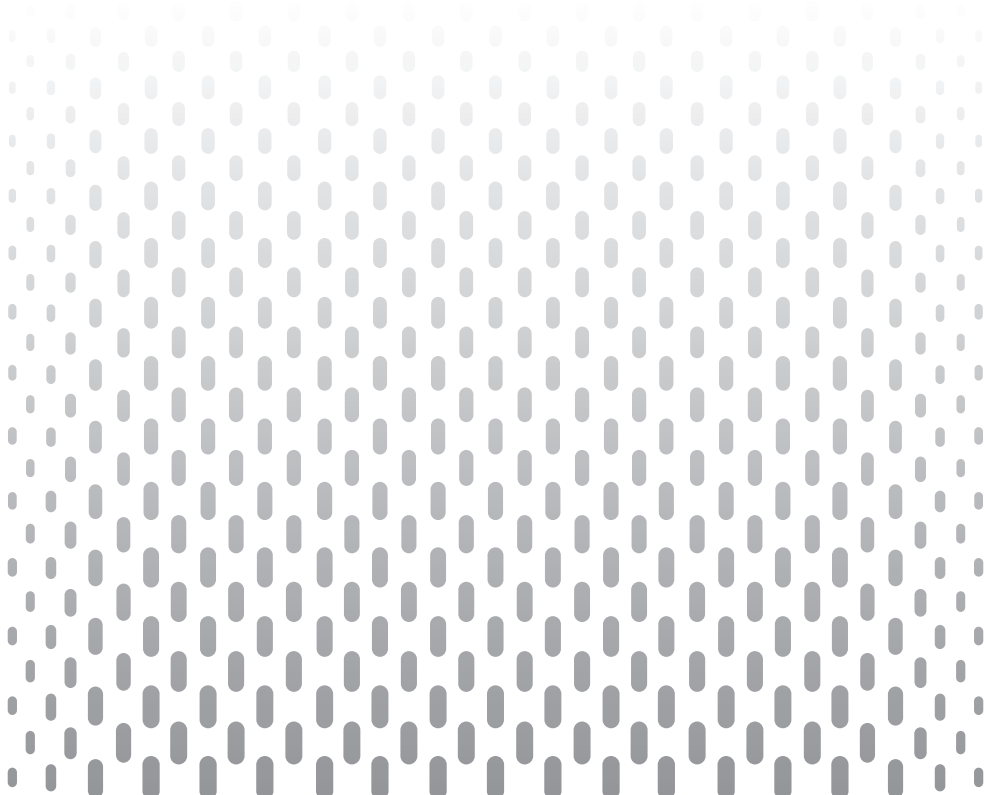
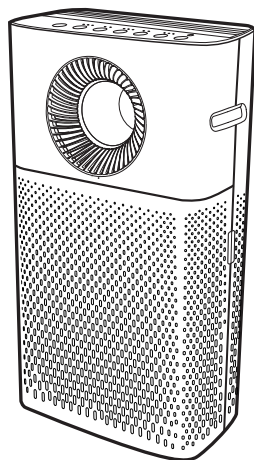


AIRMEGA 取扱説明書

空気清浄機 エアメガ STORM

AP-1516D



coway

特長

優れた空気清浄能力

1

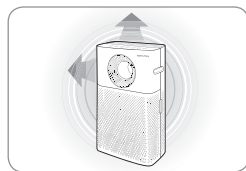
室内空気中に舞っている目に見えない微細ホコリやニオイ、有害ガスをしっかりとキャッチする抗菌GreenHEPAフィルターと脱臭フィルターを使用し、汚れ物質を素早く除去します。



マルチサイクリーション機能搭載

2

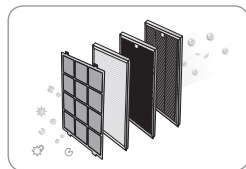
前方向と上方向の2つの吹出しが作る3種類の循環気流と、気流の形が自動で切り換わる花粉モード機能で、状況に合った強力なエアケアができます。



選べるカスタムフィルター

3

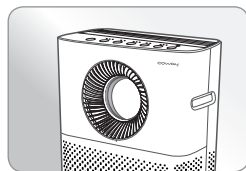
季節や使用環境に合わせて選択できるカスタムフィルターシステムで、様々な空気の悩みに対応します。



リアルタイム空気質モニターと自動運転

4

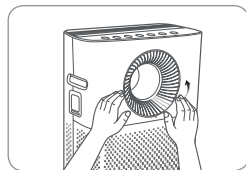
ホコリセンサーが室内空気の汚れ状態を感知し、前面のLEDランプに4段階の色で見やすく表示します。また、空気質と明るさに合わせて風量とランプオン/オフを自動切換える、自動運転機能を搭載しています。



取り外し可能な吹出口グリル

5

上部と前面の吹出口のグリルは取り外しできるため、カバーが固定されていた従来の製品に比べ、より簡単にお手入れすることができます。



お客様へ

コーウェイ空気清浄機をご使用いただき、ありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

使い方やお手入れに関するご質問や異常が発生した場合、お問い合わせの前に本書をもう一度ご確認ください。

この取扱説明書には、製品保証書が付属していますので大切に保管してください。

目次

はじめに

- | 03 | 安全上のご注意
警告
注意
- | 07 | 各部の名前
- | 09 | 空気清浄フィルターシステム

使い方

- | 10 | ご使用前の準備
フィルターの取り付け方法
- | 11 | 表示/操作部
- | 13 | 運転の仕方
- | 16 | ホコリセンサーの感度調整

お手入れ

- | 17 | 本体のお手入れ
本体のお手入れ
プレフィルターのお手入れ
- | 20 | フィルターの交換

その他

- | 22 | サービスセンターに
連絡する前に
- | 23 | 仕様
- | 26 | 製品保証書

安全上のご注意

お客様の安全のための内容です。必ずお守りください。

お客様の安全と事故防止のため、

注意事項をよくお読みになり正しくお使いください。

誤った使い方で生じる内容を次のように区分して説明しています。

▲ 警告：「死亡、または重傷を負うおそれがある」内容。

▲ 注意：「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

▲ 警告

- 定格電圧(AC100V)以外では使わない。日本以外では使わない。
感電・火災の原因
- 水につけたり、水をかけたりしない。部品に水が掛かった場合は、ただちに運転を停止し、必ず専門修理技術者に点検を依頼する。
感電・ショート・発火の原因
- 電源コードを引っ張ったり、濡れた手で電源プラグに触れない。
感電・火災の原因
- 電源コードが濡れている場合には、コンセントから電源プラグを抜き、完全に乾かしてから使用する。
感電・火災の原因
- 異常な音、ニオイ、または煙が発生したときには、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店、またはサービスセンターに連絡する。
感電・火災の原因
- お手入れや部品交換、点検、修理を行うときには、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
感電・けがの原因
- タコ足配線はしない。専用のコンセントを使用する。
感電・火災の原因
- 電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときには、製品を使わない。
感電・火災・ショートの原因

-
- 電源コードを無理に曲げる・ひねる・つまむなどしない。
感電・火災の原因
 - 電源コードは熱源に近づけない。
感電・火災の原因
 - 改造はしない。また、修理技術者以外は分解・修理をしない。
感電・火災・けがの原因
 - 油・グリス・ちり粒子などが存在する工業環境や工場では使用しない。
感電・火災・けがの原因
 - 浴室など湿度の高い場所、水のかかる場所で使わない。
感電・火災・故障の原因
 - 小さいお子様が吹出口のすき間に手を入れないようにする。
お子様がけがをするおそれがあります。保護者の注意が必要です。
 - 本体上部の丸い貫通部に小さなお子様が手を入れないようにする。
本体と一緒に倒れてお子様がけがをするおそれがあります。
保護者の注意が必要です。

安全上のご注意

▲ 注意

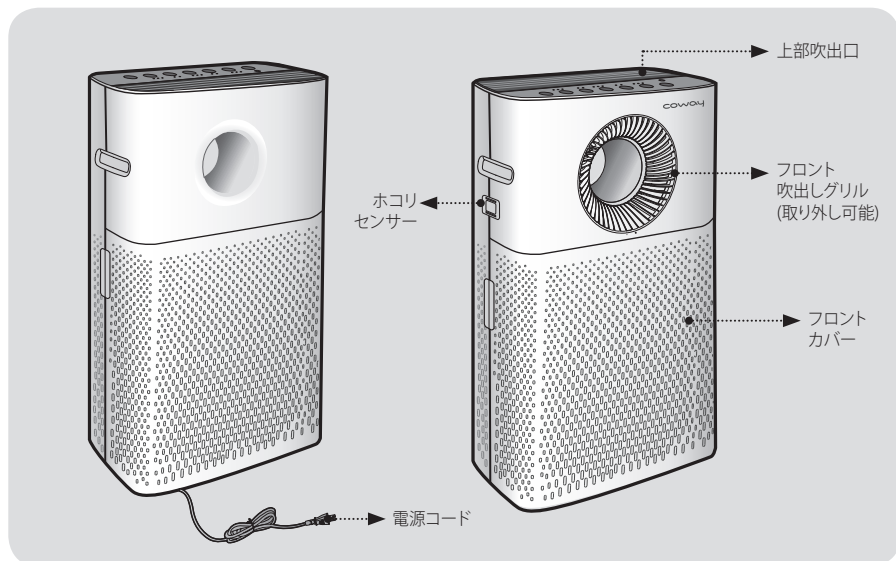
- 体の不自由な方、使用経験のない方は一人での製品の使用はしない。
- 包装用のポリ袋でお子様がお遊ばないようにする。
- メーカー推奨以外のフィルターや部品は使用しない。
- 吹出口や吸込口に物や指を入れない。開口部に物が落ちた場合は、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜く。落ちたものの取り除きは、修理技術者に依頼する。
- 使用済みのフィルターは、再利用しない。
性能低下・故障の原因
- 吹出口や吸込口をふさがない。
性能低下・けがの原因
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因
- 本体の上に乗ったり、物を置いたりしない。
- 電源コードをカーペットの下に配線したり、ラグで覆ったりしない。
- フィルターはホコリがたまり過ぎないように、目安の周期でお掃除または交換する。
- 直射日光の当たる場所に設置しない。
- 窓の近く、エアコンや暖房器具の風が直接当たるところに置かない。
- 堅くて平坦な場所に設置する。
- 本体と電源コードを、ぶつけたり踏んだりしないような場所に置く。
- 電源を入れる際は、操作部に触れない。
キー入力による誤動作の原因
- 加湿器などから発生する水蒸気が当たるところで使ったり、直接水蒸気を吸い込ませたりしない。
- 燃焼器具と一緒に使うときには、こまめに窓を開け、換気をする。

-
- 可燃性ガス・火のついたタバコ・線香などに近づけない。
発火の原因
 - 洗剤、塗料用シンナー、その他の家庭用溶媒で拭いたり、殺虫剤をかけた
りしない。
ひび割れ・感電・火災の原因
 - 本体を押したり、本体に寄りかかったりしない。
けが・故障の原因
 - 製品の前面から吹き出る風に長時間あたらないようにする。
 - 製品の前面から吹き出る風に顔を近づけない。
けがの原因
 - 循環モードボタンと花粉モードボタンを連続操作(短時間での繰り返し
操作)しない。
風向きが初期設定値から変わる場合があります。
通常循環に戻ってから、再びお好みの循環 airflow モードをお選びください。

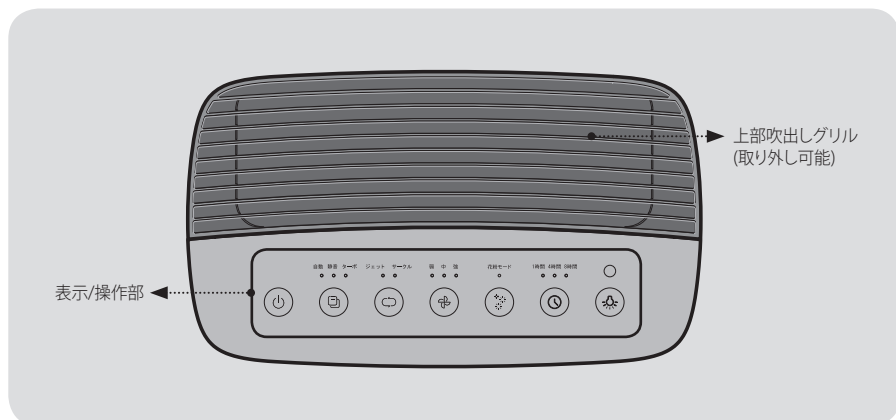
この取扱説明書は大切に保管してください。

各部の名前

前面/背面



上面



付属品



取扱説明書

空気清浄フィルターシステム

■ プレフィルター

比較的大きなホコリやカビ、髪の毛、ペットの毛などを除去し、集じんフィルター(HEPAフィルター)の性能低下を抑えます。マイクロメッシュを使うことで、フィルターの圧力損失を低減し、集じん効率を向上させました。

■ カスタムフィルター**

用環境などによって異なる様々な空気の悩みに応える、3種類のカスタムフィルターをご用意。目的とシーズンに合わせて選択、交換できます。

■ 脱臭フィルター

活性炭脱臭フィルターは、ニオイと有害ガスを99%*除去します。

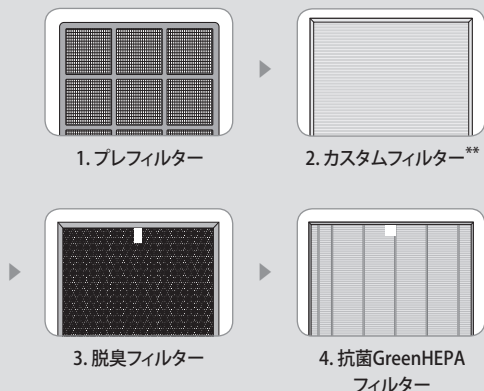
* 日本電気工業会規格(JEM1467)に定められた試験方法により当社で算出【試験ガス】アンモニア、アセトアルデヒド、酢酸。実使用空間での実証結果ではありません。すべてのニオイやガスに対応するわけではありません。

■ 抗菌GreenHEPAフィルター

・0.3 μ mの微細ホコリ、花粉、タバコの煙など、目に見えない浮遊微小粒子を99.97%除去します。
また、捕捉した有害物質の活動を抑制する機能を持つコーウェイ独自の抗菌集じんフィルターです。

・空気清浄機本体でPM2.5に対応*しています。

* 0.1~2.5 μ mの粒子を99%キャッチ。日本電気工業会規格JEM1467による当社試験結果であり、実使用空間での結果ではありません。



** カスタムフィルターは別売品です。購入時には本フィルターは含まれません。カスタムフィルターを取付けなくても、製品の基本性能には影響がありません。

ご使用前の準備

ご使用前に必ずご確認ください!

▲ 本製品は必ず交流100V 50 Hz, 60 Hz でご使用ください。



フィルターの取り付け方法



注意

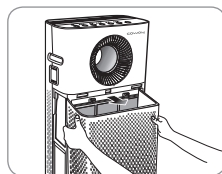
- 必ずフィルターをポリ袋から取り出してから取り付けてください。
- 屋内でのみお使いください。
- ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- フィルター取り付けの際、フィルターの前面をご確認ください。

▶ フィルター取り付け手順：抗菌Green HEPAフィルター → 脱臭フィルター → カスタムフィルター+プレフィルター

* カスタムフィルターは別売品です。

1. フロントカバーを外します。

フロントカバーの両側を手前に引いて取り外してください。



2. フィルターをポリ袋から取り出します。

プレフィルター以外のフィルターをポリ袋から取り出し、次の順序で本体に取り付けてください。

カスタムフィルターは、プレフィルターの裏面に合わせて入れてください。

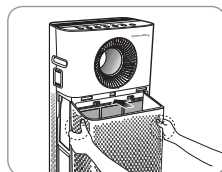
* フィルター取り付け手順：抗菌Green HEPAフィルター → 脱臭フィルター → カスタムフィルター+プレフィルター

* カスタムフィルターは別売品です。

3. フロントカバーを取り付けます。

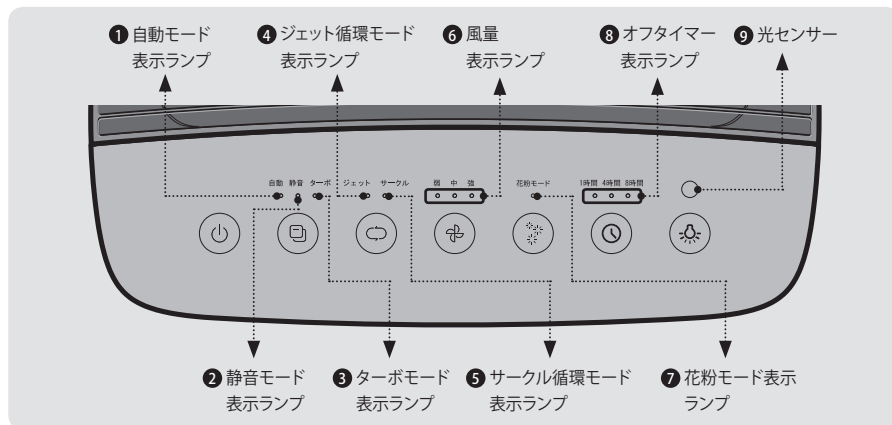
フロントカバーを本体の両側にある2つのくぼみに合わせ、押すように取り付けてください。

* フロントカバーが正しく取り付けられていないと、製品は作動しません。



表示/操作部

表示部



- 1 自動モード表示ランプ**
自動モード運転時に点灯します。



- 2 静音モード表示ランプ**
静音モード運転時に点灯します。



- 3 ターボモード表示ランプ**
ターボモード運転時に点灯します。



- 4 ジェット循環モード表示ランプ**
ジェット循環モード運転時に点灯します。



- 5 サークル循環モード表示ランプ**
サークル循環モード運転時に点灯します。



- 6 風量表示ランプ**
運転中の風量(弱/中/強)のランプが点灯します。



- 7 花粉モード表示ランプ**
花粉モード運転時に点灯します。



- 8 オフタイマー表示ランプ**
オフタイマーを設定すると、設定した時間(1時間/4時間/8時間)のランプが点灯します。



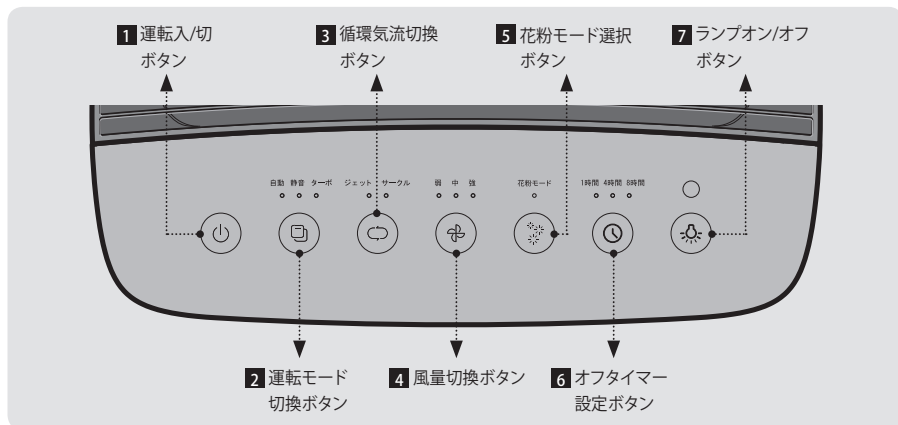
- 9 光センサー**
お部屋の照度を感じるセンサーです。



- 10 空気質モニター**
ホコリセンサーが検知した室内空気の汚れレベルを、LEDの色で表示します。

空気質	良い	普通	やや悪い	悪い
モニター色	青	緑	黄	赤

操作部



1 運転入/切ボタン

運転を開始/停止します。
* 製品を初めてお使いになるときは、自動モードで運転を始めます。運転中に電源プラグを差し直した場合、停止直前の運転モードに復帰します。ただし、停止前の運転モードが「ジェット」、「サークル」、「快速循環」だった場合は、自動モードで運転を始めます。



3 循環気流切換ボタン

押すたびに、「ジェット」→「サークル」→循環気流選択前の運転モードの順に気流が切り換わります。
* ただし、以前のモードが快速循環モードだった場合は、自動モードに切り替わります。
- 「ジェット」気流: 前面から風が出てきます。
- 「サークル」気流: 前面と上部から同時に風が出てきます。



5 花粉モード選択ボタン

「花粉モード」を選択/解除します。
* 花粉モードは、単独機能です。
「自動」/「静音」/「ターボ」モードや「ジェット」/「サークル」気流と同時にご使用いただけません。



7 ランプオン/オフボタン

表示ランプと空気質モニターランプを消灯/点灯します。表示部ランプと空気質モニターランプが全て点灯している状態でボタンを押すと、空気質モニターランプのみオフ → 表示ランプもオフ → 全てのランプオン の順にランプをオン/オフできます。



2 運転モード切換ボタン

押すたびに、「自動」→「静音」→「ターボ」の順に運転モードが切り換わります。



4 風量切換ボタン

手動で風量を切り替えるボタンです。押すたびに、「弱」→「中」→「強」の順に風量が切り換わります。
* 「自動」/「静音」/「ターボ」モード運転中、または「快速循環」モード運転中に風量切換ボタンを押すと、手動モードに切り換わります。



6 オフタイマー設定ボタン

押すたびに、「1時間」→「4時間」→「8時間」後の順に運転停止予約時間を設定できます。タイマーが設定されていない時は、どのランプも点灯しません。

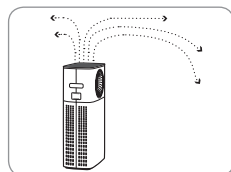
運転の仕方



- 運転を開始する前に、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 電源を入れると、基本的に自動モードで運転を始めます。

通常循環

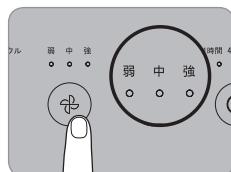
通常循環モードでは、上部吹出口から風を吹出します。
「運転入/切」ボタンを押して電源を入れ、手動運転または「自動」/「静音」/「ターボ」モードの中から、お好みの運転モードをお選びください。手動運転と「自動」/「静音」/「ターボ」モードでは、通常循環気流(上方向吹出し)で運転します。



■ 手動運転するには

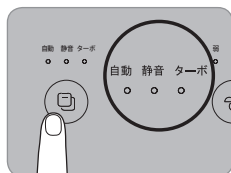
「運転入/切」ボタンを押して電源を入れ、風量切換ボタンを押してお好みの風量をお選びください。(弱→中→強)

* 「自動」/「静音」/「ターボ」モード運転中に風量切換ボタンを押すと、すぐに手動運転に切り換わります。



■ 「自動」/「静音」/「ターボ」モードで運転するには

「運転入/切」ボタンを押して電源を入れ、運転モード切換ボタンを押してお好みの運転モードをお選びください。(自動 → 静音 → ターボ)



▶ 自動モード

ホコリセンサーが検知したお部屋の空気状態に合わせて風量を自動調整し、効率よく運転します。通常の使用条件で便利に使える運転モードです。

空気質	「良い」	「普通」/「やや悪い」	悪い
風量	弱	中	強

▶ おやすみモード(自動モードでのみ作動)

自動モード運転中にお部屋の暗い状態が3分間続くと、おやすみモードに入り低風量/低騒音/省エネ運転をします。お部屋が再び明るくなり光を5分間検知し続けると、おやすみモードは自動解除されます。おやすみモード中のランプオン/オフは、おやすみモード開始前のランプ状態によって異なります。次の表をご参照ください。

* 自動/静音/ターボ/おやすみモードは、通常循環気流(上方向吹出し)で運転します。

▶ 静音モード

風量を最小に押さえて、静かで快適な環境をつくれます。静音、省エネ運転をする運転モードです。

* 静音モードでは風量表示ランプは消灯します。

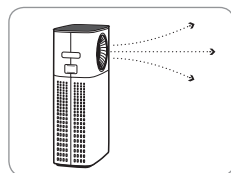
▶ ターボモード

風量を最大化させて、素早く室内空気を浄化します。「ターボ」モードでは、風量「強」のときよりも強力に運転します。

ランプ 状態	おやすみモード開始前 表示部/空気質モニターランプ	おやすみモード運転中 自動モード表示/空気質モニターランプ	おやすみモード解除後 表示部/空気質モニターランプ
	オン/オン	オン/オフ	オン/オン
	オン/オフ	オン/オフ	オン/オフ
	オフ/オフ	オフ/オフ	オフ/オフ

ジェット循環

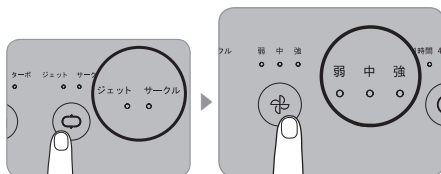
ジェット循環モードでは、フロント吹出口から風を吹出します。「運転入/切」ボタンを押して電源を入れ、循環気流切換ボタンを押してジェット循環モードをお選びください。押すたびに、「ジェット」→「サークル」→循環気流選択前の運転モードの順に切り換わります。ジェット循環モードを選択すると、始めは「弱」風量で運転します。



■ 風量を変更するには

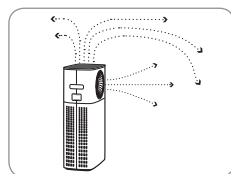
ジェット循環モード中に、風量切換ボタンを押して、お好みの風量に調整できます。(弱→中→強)

- * ジェット循環モード中に運転モード切換ボタンや快速循環モード選択ボタンを押すと、循環モードは解除されます。
- * ジェット循環モード運転中は、空気質モニターランプが点灯状態で時計回りに回転します。



サークル循環

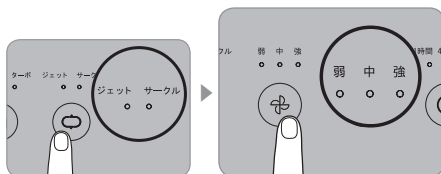
サークル循環モードでは、上部吹出口とフロント吹出口の両方から風を吹出します。「運転入/切」ボタンを押して電源を入れ、循環気流切換ボタンを押してサークル循環モードをお選びください。押した順に、「ジェット」→「サークル」→循環気流選択前の運転モードの順に切り換わります。サークル循環モードを選択すると、始めは「弱」風量で運転します。



■ 風量を変更するには

サークル循環モード運転中に、風量切換ボタンを押して、お好みの風量に調整できます。(弱→中→強)

- * サークル循環モード中に運転モード切換ボタンや快速循環モード選択ボタンを押すと、循環モードは解除されず。
- * サークル循環モード運転中は、空気質モニターランプが時計回りに回りながら点滅します。



運転の仕方

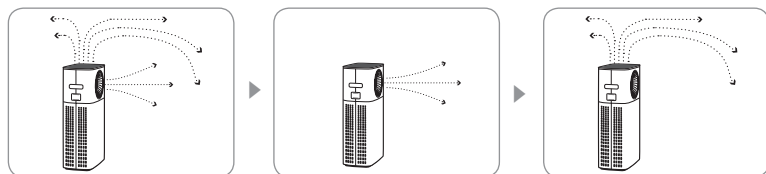
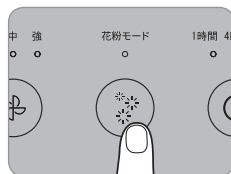


注意

- 循環気流切換ボタンを連続操作(短時間での繰り返し操作)しないでください。風向きが初期設定値から変わる場合があります。
- * 通常循環に戻ってから、再びお好みの循環気流モードをお選びください。

花粉モード

花粉モードでは、大きなホコリをすばやく除去するために「サークル」、「ジェット」、「通常」の3つの気流が順次自動切り換えりながら、最大風量で運転します。外出後の帰宅時、または換気した後に使用すると効果的です。



ステップ	循環気流 (動作時間)
1	サークル循環 (3分)
2	ジェット循環 (2分)
3	通常循環 (5分)

* 花粉モードはターボ風量でのみ運転できます。花粉モード運転をしながら風量を調整することはできません。

* 花粉モード運転中は、各ステップ別の循環モードに合わせて吹き出し方向と空気質モニターランプの点灯状態が変わります。表示部は、各ステップ別の循環モードに関係なく、「花粉モード」表示ランプのみ点灯します。

* 花粉モードの3ステップが完了すると、自動モードに切り換わります。

* 花粉モード運転中に「運転モード切換」/「風量切換」/「花粉モード選択」ボタンを押すと、花粉モードは解除されます。

* 花粉モード選択ボタンを再度押して解除すると、以前のモードに戻ります。

ただし、以前のモードが循環気流モード(ジェット/サークル)だった場合には、自動モードに切り換わります。



注意

- 花粉モード選択ボタンを連続操作(短時間での繰り返し操作)しないでください。風向きが初期設定値から変わる場合があります。
- * 通常循環に戻ってから、再びお好みの循環気流モードをお選びください。

ホコリセンサーの感度調整

ホコリセンサーの感度を調整するには

工場出荷時のホコリセンサーの感度は「標準」に設定されています。ホコリレベルが高い状態で空気清浄機を2時間以上運転しても空気質モニターランプが「悪い」(赤)のまま変わらなかったり、空気質が悪くなっても空気質モニターランプが1時間以上「良い」(青)のままなら、次の方法でセンサー感度を調整することができます。

1. 運転中に、「運転モード切換」ボタンと「風量切換」ボタンを同時に1秒以上押します。



2. 風量表示ランプが約0.5秒間隔で点滅します。



3. 「風量切換」ボタンを押して、お好みのセンサー感度に調整します。風量切換表示ランプが点滅し、現在選択しているセンサー感度を表示します。

風量「弱」	風量「中」	風量「強」
感度高い(敏感)	感度標準	感度低い(鈍感)



4. 再び「運転モード切換」ボタンと「風量切換」ボタンを同時に1秒以上押すと、選択したセンサー感度が入力され、設定が完了します。

* センサー感度を選択してから10秒間「運転モード切換ボタン」と「風量切換」ボタンの同時入力がないと、選択したセンサー感度が自動入力されます。



本体のお手入れ



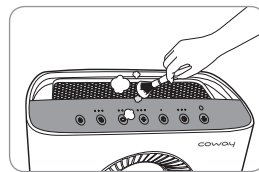
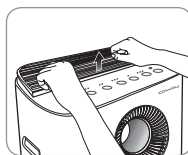
注意

- お手入れの前に必ず電源プラグを抜いてください。
- 有機溶剤（ソルベント、シンナーなど）、漂白剤、塩素や研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。
- 本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。

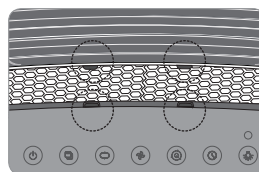
■ 上部吹き出しグリルと吹出口の掃除

上部吹き出しグリルを持ち上げて、グリルと吹出口のホコリを柔らかいブラシまたは掃除機でふき取ってください。

* お手入れの際、ホコリが吹出口の内側に落ちないように注意してください。



* 上部吹き出しグリルを取り付ける際は、右図のように本体の溝にグリルの突起を合わせて差し込んでください。



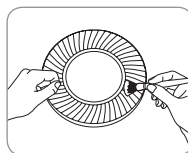
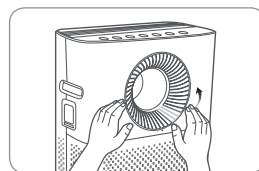
■ フロント吹き出しグリルと吹出口の掃除

フロント吹き出しグリルを反時計回りに回しながら、本体から取り外します。取り外したフロントグリルにたまったホコリを、柔らかいブラシまたは掃除機でふき取ってください。

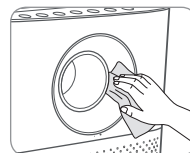
本体内部をお手入れする際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

* 汚れがひどい場合は、水を少し含ませた布で拭いてください（研磨剤使用禁止）。

* お手入れの際、ホコリが製品の内側に落ちないように注意してください。

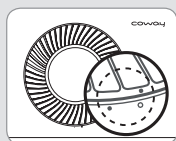


【グリルのお手入れ】

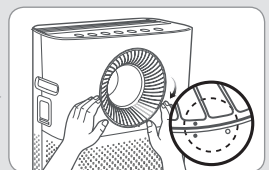


【本体吹出口お手入れ】

- ⚠ お手入れ後は、フロントグリルと本体の取り付け部マークを合わせて取り付けください。フロントグリルを時計回りに回転させて固定させます。



【グリルの取り外し】

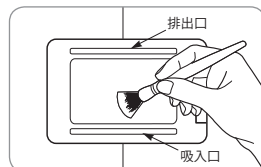


【グリルの取り付け】

■ ホコリセンサーのお手入れ (お手入れの目安: 約2ヶ月に1回)

1. 本体の側面にあるホコリセンサーカバーの吸入口と排出口を柔らかいブラシまたは掃除機で掃除してください。

* お手入れの際、ホコリが製品の内側に落ちないように注意してください。

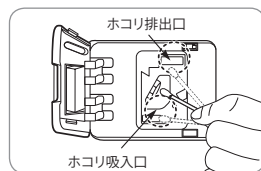
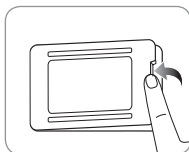


2. ホコリセンサーカバーを開けてください。

(カバーにある溝を使うと簡単に開けられます。) レンズ、ホコリ吸入口とホコリ排出口を乾いた綿棒でふきます。ホコリが付着している場合は綿棒に水を少しつけてふき取り、乾いた綿棒で再度ふいて水分を完全に乾燥させてください。

* お手入れを定期的に行わない場合、ホコリセンサーの性能低下の原因となります。

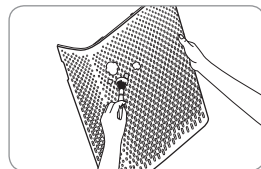
* ホコリの多い環境では、より頻繁にお手入れしてください。



■ フロントカバーのお手入れ

本体からフロントカバーを取り外した後、乾いた柔らかい布やブラシなどで表面についているホコリをふき取ってください。

* 汚れがひどい場合は、水を少し含ませた布で拭いてください (研磨剤使用禁止)。



■ 本体表面のお手入れ

乾いた柔らかい布で拭いてください。

* 汚れがひどい場合は、水を少し含ませた布で拭いてください (研磨剤使用禁止)。



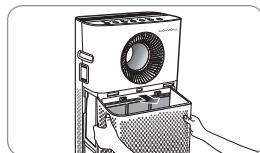


注意

- フィルターをお手入れする前に、必ず電源プラグを抜いてください。
- プレフィルターの、ホコリを掃除機で吸い込んだり水で洗い流すことで繰り返し使ってください。
- プレフィルターを長時間お手入れしない場合、性能低下の原因となります。
- 抗菌Green HEPAフィルター、脱臭フィルター、カスタムフィルターは再利用できません。絶対に水洗いしないでください。

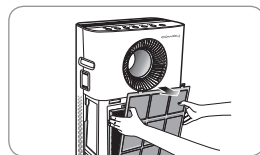
■ プレフィルターお手入れ(お手入れの目安:約2~4週間に1回)

1. フロントカバーの両側を手前に引いて取り外してください。



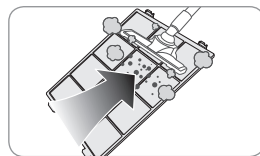
2. プレフィルターのハンドルを引きながら取り出し、カスタムフィルターと分離してください。

* ホコリが落ちないように気をつけて分離してください。



3. プレフィルターに付着したホコリを掃除機で吸い取ってください。掃除機でホコリが充分に取れない場合は、水でそっと流してください。

* お手入れの際、ホコリが製品の内側に落ちないように注意してください。



4. 水気を完全に乾かしたプレフィルターを奥までしっかりと押し込んで取り付け、フロントカバーを閉じてください。



フィルターの交換



注意

- 10ページのフィルター取り付け方法をご参照のうえ、フィルターを交換してください。
- フィルターを取り付ける際、「前面」を必ず確認してください。
- フィルターは必ず純正のものを使用してください。純正でないフィルターを使用する場合、メーカーや販売店は性能を保証できません。
- フィルター交換の前に、必ず電源プラグを抜いてください。

■ フィルターのお手入れ/交換の目安

フィルター	お手入れ/交換の目安	お手入れ/交換
プレフィルター	約2～4週間に1回	お手入れ
カスタムフィルター	約4ヶ月に1回	交換
脱臭フィルター	約1年に1回	交換
抗菌Green HEPAフィルター	約1年に1回	交換

* 最大風量で1日8時間運転する場合の目安です。

* フィルターお手入れ/交換の目安は推奨周期を記載したものであり、使用環境や使い方によって異なる場合があります。

■■ カスタムフィルターの交換 (交換の目安:約4ヶ月に1回)

1. フロントカバーとプレフィルターを本体から取り外した後、プレフィルターから使用済みのカスタムフィルターを外してください。

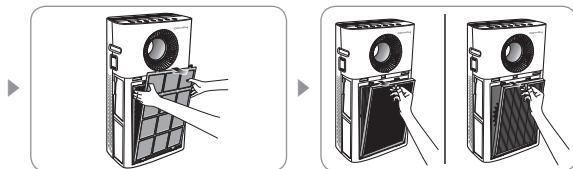


2. 新しいカスタムフィルターをポリ袋から取り出し、プレフィルターの裏面に合わせ入れてください。プレフィルターとフロントカバーを、上記1との逆の順で戻します。



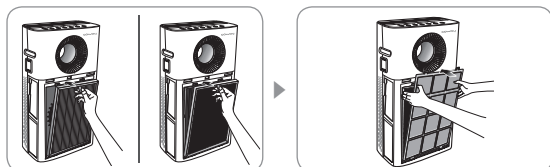
■■ 脱臭フィルター/抗菌Green HEPAフィルターの交換 (交換の目安:約1年に1回)

1. フロントカバーとプレフィルター、カスタムフィルターを本体から取り外した後、使用済みの脱臭フィルターと抗菌Green HEPAフィルターを取り出してください。



2. ポリ袋から取り出した新しい脱臭フィルターと抗菌Green HEPAフィルターを取り付けてください。取り外した逆の順にフィルターを取り付け、フロントカバーを閉じてください。

* フィルターの「前面」表示を確認してください。



サービスセンターに連絡する前に

お問い合わせの前に、まずは次の内容をご確認ください。
問題が解決しない場合は、お求めの販売店のサービスセンター、またはメンテナンス契約店にご連絡ください。

現象	ご確認ください	解決方法
吹出口から空気が出ない。	・電源プラグがつながっていますか？	電源プラグをACコンセント(100V~50Hz、60Hz)に差し込んでください。
	・すべての表示ランプが消灯状態ではありませんか？	運転ボタンを押して製品をオンにした後、必要な機能を選択してください。
	・停電ではありませんか？	電源が回復するまで待つてから、製品を使用してください。
空気質が変わっても風量が自動切換しない。	・風量を手動設定していませんか？	お好みの運転モードに変更してください。
	・ターボ、静音ランプがついていませんか？	ターボや静音モードでは、ホコリセンサーの検知結果に関係なく既定の風量で運転します。
	・部屋が暗くないですか？	おやすみモード運転中は最小風量に固定されます。
	・花粉モードランプがついていませんか？	花粉モード運転中は最大(ターボ)風量に固定されます。
風量が大幅に弱くなった。	・フィルターのお手入れや交換時期が過ぎていませんか？	フィルターのお手入れや交換の目安をご確認のうえ、フィルターのお手入れや交換をしてください。 *レンタルでご使用中の場合は、メンテナンス契約店にご連絡ください。
空気質モニターの色が変わらない。	・ホコリセンサーレンズ部にホコリがたまっていますか？	ホコリセンサーレンズ部を清掃してください(P.18参照)。
	・空気質が「悪い」(モニターランプ色:赤)のままずっと変わりませんか？	ホコリセンサーの感度を「低い(鈍感)」または「標準」に調整してください(P.16参照)。
	・空気質が「良い」(モニターランプ色:青)のままずっと変わりませんか？	ホコリセンサーの感度を「高い(敏感)」または「標準」に調整してください(P.16参照)。
吹出口から悪臭がする。	・フィルターのお手入れや交換時期が過ぎていませんか？	フィルターのお手入れや交換の目安をご確認のうえ、フィルターのお手入れや交換をしてください。 *レンタルでご使用中の場合は、メンテナンス契約店にご連絡ください。
空気質モニターが点滅している。	・サービスセンターにお問い合わせください。	
その他のトラブル	・問題の現象をご確認の上、必ず電源プラグを抜き、サービスセンターまたはメンテナンス契約店にお問い合わせください。	

仕様

製品名	空気清浄機
モデル	AIRMEGA STORM (AP-1516D)
適用床面積(目安)*	52 m ² (約32畳)
フィルター	プレフィルター (マイクロメッシュ、洗浄可能)、カスタムフィルター(オプション)、 活性炭脱臭フィルター、抗菌Green HEPAフィルター
定格電圧	100 V~ 50 Hz, 60 Hz 共用
最大風量	8.3 m ³ / 分
運転音	~52 dB
定格消費電力	70 W
質量	約12.5 kg
外形寸法	幅410 x 奥行240 x 高さ765 (mm)

*適用床面積/最大風量/運転音は、通常循環及び風量「ターボ」で運転したときの性能データです。「ジェット」、「サークル」循環モードでの性能は上記と異なります。

*適用床面積は、日本電気工業会規格(JEM1467)で定められた試験方法により算出しており、自然換気回数1(1回/時間)の条件において、粉じん濃度1.25mg/m³の空気の汚れを30分でビル衛生管理法に定める0.15mg/m³まで清浄できる部屋の大きさ(高さは2.4メートル)を定めたものです。

メモ

その他

仕様

メモ



製品保証書

製品名	COWAY空気清浄機 AP-1516D	保証期間
SER. NO		1年
購入日	年 月 日	
保証期間	年 月 日	
住所		
名前		Tel

1. 正常な使用中、製品の製造上の欠陥により故障した場合、保証期間内に限り無償でアフターサービスを行います。
2. 故障した場合は当社にご連絡ください。
3. 次の場合は保証期間中でも有料になります。
 - 使用上の不注意や不当な修理及び改造による故障
 - 取扱説明書に明示された事項の不履行による故障
4. 保証期間経過後の修理：当社のアフターサービスセンターが法定年数の間、部品を保有しておりますので有料修理が可能です。
5. 修理が必要な時は、必ずこの保証書を提示してください。
6. 本保証書は日本国内に限って適用されます。(This warranty is valid only in Japan)
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

製品の保証に関して

1. 必ず購入日、保証期間などの記入をお確かめの上、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管してください。
2. 保証期間であっても有料サービスになることもございます。下記のような場合はサービス料（修理代+部品代+出張費）をいただいてから修理いたします。

有料サービス

- 使用者の取り扱いの不注意
- フィルターなど消耗品交換の場合
- 当社のアフターサービス員でない者が修理し、故障した場合
- 天災(火災、地震、水害など)により、故障した場合
- 使用者が勝手に内部を改造し、故障した場合
- 設置後、使用中の落下(使用者の過失)などにより、故障した場合

<お客様お問い合わせ窓口>

0800-999-0213

コーウェイ・ジャパン株式会社

100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-6 日比谷パークフロント17階

coway

<https://coway.jp>



アフターサービス: 0800-999-0213

ホームページアドレス: <https://coway.jp/>

製品使用中故障によってサービスが必要な場合にはご連絡ください。
いつも親切で正確なサービスを早急に提供させていただきます。

- コーウェイのフィルターおよび部品ではないものをご使用した場合に発生する問題については責任を負いかねます。
- 製品の性能改善のために、事前予告なしに若干の規格変動がある場合があります。